

知識を増やす習慣のお話

2026年最初の更新になります。今年もよろしくお願いします。あん Do は帰省

先で軽く雪に降られた以外はおだやかな年末年始でしたが、みなさんはいかがでしたか？

さて、前回はニュースについての知識を増やしましょう、というお話しでした。

それに関連して、年末年始の経験から思うところがあったので、今回はそれについて書いてみたいと思います。

年末に高校時代に仲の良かった同級生と忘年会をする機会がありました。

高学年では知っている人も多いはずですが、あん Do の母校は鹿児島の進学校です。東京や大阪など全国に同級生が散らばっていて、個人的に良く連絡を

と取っている、という友人は残念ながらそれほど多くありません。今回はいつもの仲間5人が全員そろい、積もる話に花が咲きました。



あん Do の母校 左奥に見えるのは桜島

年に数回しか会わないので、互いの近況を聞くだけでどんどん時間が過ぎてしまつたのですが、会話の中で知らない単語が出てきた時の反応がみんな良く似ているんです。もちろん、ぱっと説明できる人がいればその場で説明して話が進むのですが、ちょっと詳しく知りたい、となるとみんなスマホを取り出して調べ始める。「知りたいことがすぐわかる、良い時代になったよね。」という感じで、お互に違うサイトを参考にして情報を突き合わせたりしていました。

年始にもこんな体験がありました。帰省中、妹の家族と初詣に行った時のことです。あんDoの妹一家は沖縄に住んでいるのですが、帰り道にふと「沖縄旅行の時に、神社のようなものを見た記憶がないんですが、沖縄の初詣って、どういう所に行くんですか？」と聞いてみました。すると「普通に神社ありますよ。」という答えだったので、その時は「あー、そうなんですね。」で終わりました。しかし、その数分後に、スマホの画面を見せながら、「『琉球神道』というのがあるらしいです。本土の

神道とつながりはあるみたいですが、ちょっと違うみたいですね。」と教えてくれました。自分が気になったのか、調べてくれたみたいです。



もちろん、どちらもその時は「いつものことだなー」ぐらいな感じで、それは
ど気にもとめませんでした。ですが、新年になってからの授業で、「なんでそん
なにいろいろ知ってるの？」という質問を受けたときに、はつと思いつきました。
それは「自分の周りには『知らなかつたらすぐ調べる』人がすごくたくさんいる
んだな。」ということです。ティープロの職員室でも、なんでもすぐ調べる先生
たちばかりですし、大学時代の友人たちも、知らないことをそのままにしておく、
という人はほとんど思い当たりません。そして「知りたいことをすぐ調べられる
環境はすばらしい」とみんなが考えています。しかも、ほとんど全員が「自分
の知識なんてたいしたことない。知らないんだから調べるのは当たり前。」と思
っているのです。

もちろん人間ですから、一度覚えたことでも忘
れることはありますし、全てのことに興味を持て
るわけでもありません。でも、今回のお話しの中で
は、たとえば「琉球神道」という言葉ひとつだけ
でも頭に残っていれば、「そういえばあの時こん
な話をしたな。」と思い出した時に調べ直すこと
もできます。そうやって目にしたり耳にしたりしたことを少しづつ脳の中に蓄
えていく、ということが知識を増やすということになります。



学校の勉強や塾の勉強で忙しい人も多いとは思います。そんなこと別に大
変じゃない、なんていうつもりはありません。しかし、勉強する中で出てきた
ことだけでなく、テレビで見聞きしたり、お友達や家族との会話の中で出てきた
りした「知らないこと」をそのままにせず、図鑑や辞書、インターネットなどを
使って「知っていることに変えていく」習慣があるとないとでは、知識の量に
大きな差がついていくことになると思います。前回おすすめしたニュースのチ
ェックでも、知らない言葉にふれる機会は多いと思います。自分が興味を持つ
ている分野だけでも、「『知らない』ことは恥ずかしくないけど『知らないことを
そのままにしておく』ことは恥ずかしい。」という感覚を持って、「調べる」とい
う習慣が身につくと、みなさんにとって大きな財産
になると思いますよ。少なくともあん Do は、小さい
いころに置物のように本棚を占領していた百科事
典と、それを置いておいてくれた両親に感謝してい
ます。今はそんな時代よりずっと気軽に調べられる
のですからみなさんも……ね。



26/1/15 (買ったけど積みっぱなしになっている本も読みたい) あん Do